

長野セルプ協議会
の取り組み
農業就労チャレンジ事業

タキイ種苗(株) CSR委員会 (技術指導員)
須江 淳起

農業就労チャレンジプロジェクト 「農業」×「障がい者」を繋ぐ取組

- 長野県では、障がいを理解し、障がいのある方々を応援する社会づくりを推進しています。障がいのある方々が地域で自立して生活するための支援として、2014年度から、農業分野における就労促進に取り組んでいます。
- 障がいのある方々が、農業生産法人等のお仕事のお手伝いをします。
- プロジェクト事務局の「農業就労チャレンジコーディネーター」、「地域連携促進コーディネーター」及び「農業就労チャレンジサポーター」がこのプロジェクトを推進します。

障がいのある方々がお手伝いできる農作業

- 障がいのある方々は、現在、次のような作業をお手伝いしています。実際に受入れている農業者の方からは、「作業工程の細分化と個々の特性に応じた配置をすることで、貴重な労働力を確保することができた」等の感想をいただいております。

< 作業事例 >

- 野菜苗の定植、水やり、収穫作業
- 圃場の草刈り、市田柿の収穫、選別、運搬等
- ぶどうの房作り、つる切り、収穫、除草等ほ場管理作業
- 野菜の収穫、種まき、草取り等
- えのきの筒かぶせ、その他栽培補助等

・ 農業就労チャレンジコーディネーター

農家や農業生産法人等からお仕事をいただき、障がい者（障がい者就労施設）をご案内して、農家等と障がい者との仲介を行っています。サポーターと一緒に派遣。

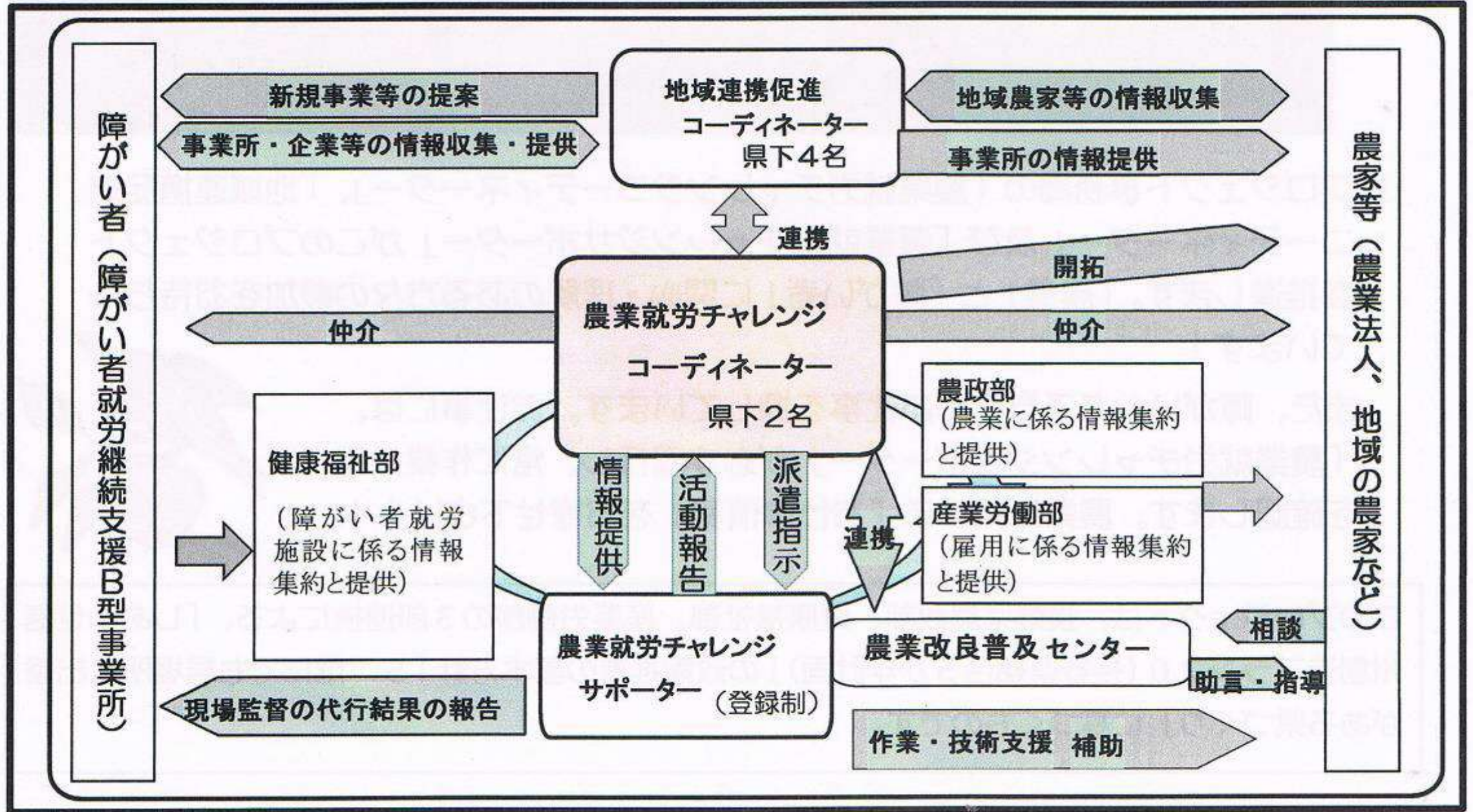
・ 地域連携促進コーディネーター

長野県を4つの地域に分けて4名で構成。地域の企業や農業者等を訪問し、障がい者就労施設の生産する物品や提供できるサービスを知っていただくとともに、企業等のニーズや地域の課題に応えるためのお仕事を障がい者就労施設にいただけるとするなどの活動をしています。

・ 農業就労チャレンジサポーター

農業と障がい者に関心があり、農家等からいただいたお仕事をご自身の経験や知恵を活かし、障がい者の作業をサポートして頂きます。

<プロジェクトのフローチャート>



Q & A

- **Q：施設外就労とは？**

- A：障がい者就労施設が、作業依頼者と作業内容・料金等を含む業務委託契約結び、施設とは別の農場で、障がい者の皆さんと施設スタッフでチームを組んで作業を行うものです。

- **Q：障がい者就労施設との業務委託契約は？**

- A：コーディネーターが農業者の方と詳細を調整させていただき、内容が決定しましたら、作業条件等を記載した契約書をご用意しますので、双方で内容を確認いただいて契約となります。手順や詳細は担当者がご説明いたします。

- **Q：どのような作業を依頼することができますか？**

- A：様々な作業に取り組んでおりますが、施設によって対応できる作業内容が異なる場合がございますので、コーディネーターが皆様のご要望を伺いながら、施設と調整させていただきます。

- **Q：土・日曜日、祝祭日でも作業をお願いできますか？ 作業時間や料金は決まっていますか？**
- A：障がい者就労施設の運営が平日の日中時間帯であるため、農作業の依頼も施設利用時間内となります。休日・時間外の作業が必要な場合はご相談ください。作業料金は、作業内容や施設等によって異なりますので相談によって決定。
- **Q：作業を行う障がい者の皆さんは、農作業の経験がありますか？**
- A：作業によっては農作業の経験がない者もいますが、依頼いただいた作業をしっかりと行うため、サポーターや施設スタッフが作業者をサポートして、作業を行います。
- **Q：作業者への作業説明・指示は、誰が行うのですか？ また、農業者（園主等）は作業が終わるまで、その場にいないといけないのですか？**
- A：作業内容等はサポーターや施設スタッフが作業者に説明・指示いたします。作業中はサポーターや施設スタッフが作業者をサポートしています。その場はサポーターや施設スタッフにお任せいただき、皆様は別の場所で他の作業に従事いただくことができます。

サポーターの派遣は1件について50時間。その間にスタッフが習熟します。

• **Q：ほ場まで作業者の送迎はどうするのですか？ また休憩等の対応はどうするのですか？**

• A：送迎は施設スタッフが対応します。また、休憩等についても同行しているサポーターやスタッフが対応します。

• **Q：もし、作業中に事故・怪我等があった場合はどのように対応するのですか？**

• A：作業中、作業者に事故等が無いように、スタッフ等が注意しながら作業をサポートします。作業者に事故等が発生した場合はスタッフが適切に対応いたします。障がい者就労施設で保険に加入しております。

• **Q：サポーターの登録**

• A：サポーターは福祉事業者や改良普及所が推薦した支援経験や技術のある方が登録頂いています。

施設外就労だけでなく施設内就労の技術的支援も行います。

時給1000円の有償ボランティアです。

施設外就労

- 小布施ワイナリー



- 千曲市リンゴ園



ネギ皮むき

- スーパーサポーターK氏
- 現場の雰囲気をもっと明るく変え、職員や利用者をやる気にさせてくれます。
- その為、農業者や障がい者事業所でのスカウトが絶えないのですが、ご本人は今のサポーターが一番色々な現場に行けて楽しいとのことでした。
- 入ってきた時の“おはようございま〜す!!” という一声で現場が明るくなるような気がします。



ジョブテラス山の畑 長印佐久で市田柿袋詰め作業



- 清浄に保たれた場所に入っの袋詰め作業。
- 一番気を付けることは、ひと袋に入れる重量。少ないのは絶対にダメ。
- 多すぎても困るので、丁度の重さになるように大きさを調整しながら選別をします。

長野ベリーファームのミニトマトの葉かき作業

- 3つの事業所の職員4名、利用者8名
- トマトの収穫期前に実の下の葉を切って行く作業です。
- 作業が終わった所がハッキリわかる仕事は、結構ハマる方が多い。
- 次回は、収穫作業をしますが、緑、黄色、鮮赤、深紅、橙、色んな色のものを収穫します。



ネギの出荷作業

- JA佐久浅間北部営農センターからネギやズッキーニ、トマトの出荷作業をもらっています。
- JAの小林センター長には、求人を出しても中々集まらず悩んでいたのが大変喜んで頂き、今年は、障がい者事業所を1事業所、増やすことにしました。



ピーマンの収穫作業

- 利用者の3人は、毎回作業に来ているので、すっかり慣れた様子。2名の引率職員は今回が初めてのこともあり、収穫に適した大きさを判断するのに一苦労。
- 果実を傷つけないよう、先の部分が若干反ったハサミを役場（営農センター）の人が捜し求めてきてくれた。とても使いやすい
- 前々回はコンテナ4つ収穫。今日の目標は5コンテナ。目標を大幅に上回る6コンテナと少し。とても暑い中の作業だったが、大満足



信州バイオファームの小松菜の収穫作業

- 一所懸命収穫作業している人も、そうでない人(笑)も居ますが、kg単価なので、農家にも、事業所にもメリットはあります。
- 有旅の丘以外にも同じように、3事業所が入って作業をしております。
- 社長は将来、障がい者事業所を自社で持ちたいのだそうです。いくつになっても、夢を持てる社長は、凄いです!!



平成農園に“わくワーク”が大豆の選別作業

- 美味しいあおばつ（緑大豆）の選別
- 緊急で何々もあります
- 時給で入れるか、歩合制で入れるか試している段階です
- 冬場の作業はなかなか工賃アップ難しいが平成社長から100点頂く



JA佐久あさま北部営農センターでの反省会

- 5つの障がい者事業所が参加
- JAの担当者によると、好調だったので、働き場所を増加希望
- 事業所の作業時間の都合から難しい面はあるが
- 事業所側は出来る限りギリギリまで作業して協力したいと発言
- どうやってお互いに折り合いをつけ、共存共栄するかです

